

「身近な地域の課題を解決しよう」 ～誰もが暮らしたいまちをめざして～

単元について

1 生徒観

表1は、6月に行った生徒アンケートの結果である。3学年の生徒は、学年集会などで自分の思いを発表する機会を多く作り、どのような場面でも意見が言えるように取り組んできた。そのため、表1の①、②の項目から分かるように自分の意見を伝えるということを抵抗なくできる生徒は多い。一方、表1の③、④の項目から分かるように、外部へ自分の考えを発信するための、必要な情報を調べたり、調べたことをまとめたりすることに課題がある。

表1 第3学年次生徒アンケート

アンケート項目		よくあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	全くあてはまらない
「課題発見・解決学習」	①授業では、自分の考えを積極的に伝えています。	42.0%	33.3%	17.7%	6.9%
	②授業では、友だちと話し合うなどして、自分の考えを深めたり、広げたりしています。	47.2%	37.7%	12.1%	3.0%
	③授業では、課題を解決するために、進んで資料を集めたり取材をしたりしています。	33.3%	34.6%	24.7%	7.4%
	④授業では調べたことなどを、図、グラフ、表などにまとめています。	31.2%	39.8%	22.9%	6.1%

2 単元観

本校区は、4小学校を含む大きな学区であり、市内の中学校の中でも大規模校にあたる。また、市の中心部に位置しており、様々な文化施設や公共施設等も多く、素材には恵まれた環境である。しかしながら、地元の良さや課題について考えたり、触れたりする機会があまりないという生徒の実態から、総合的な学習の時間において、「地域理解・社会貢献」の単元を各学年で設定している。

本単元は、各学年で設定している「地域理解・社会貢献」学習の最後の単元となる。第1学年では、地域学区の自慢できることを各施設のもとに出向いて調べることを通して地域への理解を深め、調べた事をポスターにまとめ、それを発信し地域へと返した。第2学年では、城北中学校区にある事業所での「職場体験」を経験し、勤労観や職業観についての理解を深め、事業所へ自分たちで考えた成果物をお礼状として返した。そして、第3学年では、「地域の課題を考えよう」というテーマのもと、地域の福祉や地域の安全等の視点から、身近な地域の課題を見だし、その改善策を考え提案することを通して、『主体的に学ぶ力』や『思考力・判断力・表現力』を育て、地域に深い関心を持ち、地域に貢献しようとする『社会貢献力』や『自己形成力』を伸ばしたいと考え本単元を設定した。

また、地域の課題に対してより完成度の高い提案ができるよう、現地調査を行ったり、保護者にアンケートを実施したりして、地域の人々とも課題や改善策を共有しながら活動を進める。これにより、『他者とかわる力』を高めることが期待される。さらに、改善策の提案では、地域の福祉施設の方々にも協力を仰ぎ、生徒の提案を評価していただいたり、専門的な見地からのアドバイスをいただいたりすることにより社会参画の必要性を自覚させる学習とする。

3 学びづくり観

子どもの学びを充実させるために、学びの過程における各場面において、以下のような生徒の様子をみたい。

課題の設定の場面では、地域の問題点を挙げ、その具体的要因や改善策を十分に示すことができないことに気づく。そこから、現地調査や実地調査の必要性を感じ、自らが地域に出て、しっかりと地域の課題や問題点について調べようとする。

情報の収集場面では、事前の計画を立てる際に、「いつ・誰が・どのような情報を・何のために・どのようにして」集めるのか、一人一人の役割を明確にした上で活動する。また、その内容をワークシートにまとめ、これまでの学習の過程や進捗が一目で分かるように工夫する。

整理・分析の場面では、現地調査や実地調査をまとめる際、表やマトリックスを用い、視覚的にも捉える。企画書の作成の際には、改善策の提案にはどういった内容が必要であるかを、事前に交流し、どのように企画書をまとめていけばよいかを考える。

まとめ・創造・表現の場面では、作成した企画書をもう一度交流し、別の視点で改善策における課題を見付ける。また、班員一人一人に役割を持たせ、プレゼンテーションを行う。

実行の場面では、地域の方々に協力・評価していただく。企画を行うことができないグループの企画書もそれぞれ協力していただいた方々に提案書として受け取っていただき、後日評価を回答していただき、それらの結果をきちんと受け止める。

振り返りの場面では、本単元の振り返りを行い、自らの学習の過程について自己評価を行う。また、後半の単元「3年間の学びを形にしよう」の方向づけも行う。

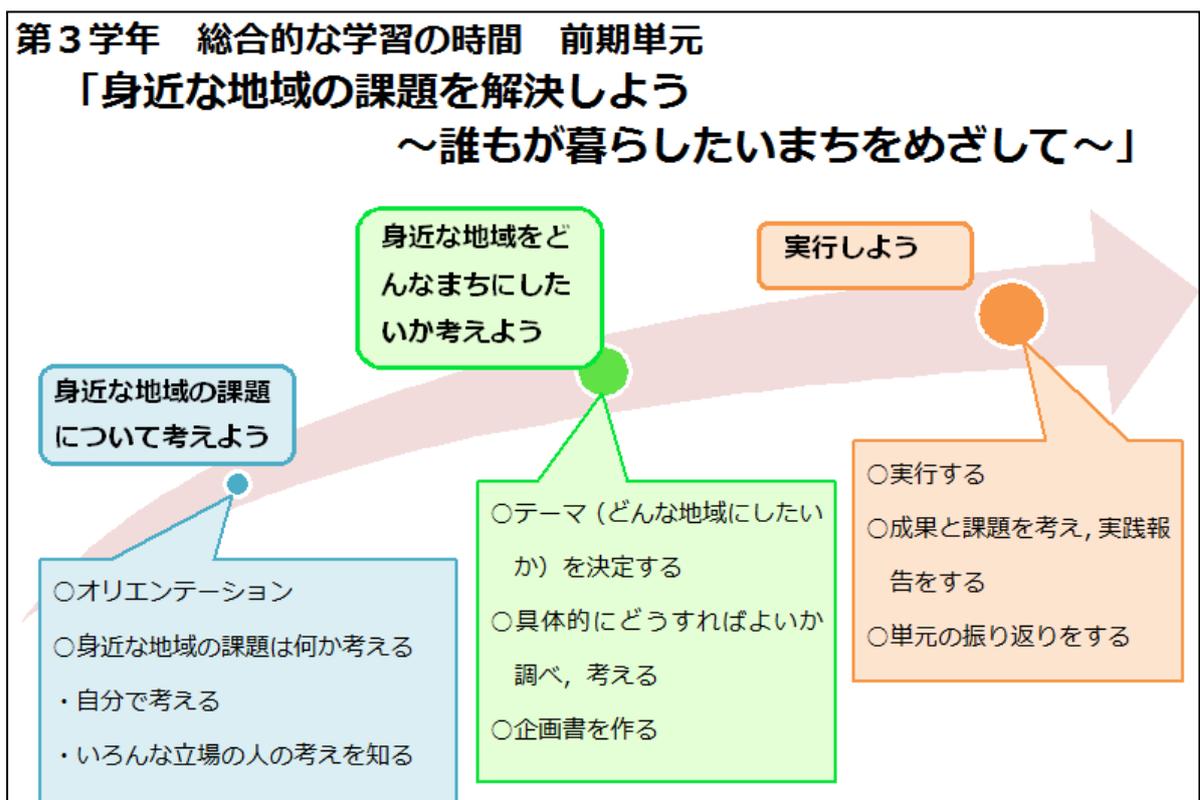


図1 学習の流れ

単元の目標

様々な立場に立って、身近な地域の方が住みやすい地域環境にするにはどうすれば良いか考え、実行する。

単元の評価規準

評価の観点	本校の設定した 資質・能力		評価規準
	知識・技能	思考・判断・表現	
知識・技能 ①知	知識・技能	知	①身近な地域の現状から課題や魅力を具体的に見出すことができる。
思考・判断・表現 ②思	思考力・判断力・表現力	思	①調べたことなどの根拠をもとに、課題の解決方法を考えることができる。 ②よりよい解決や発信の方法はないか、多面的・多角的に考えることができる。 ③相手に伝えるべき内容を選択し、分かりやすく表現することができる。
主体的に学習に取り組む態度 ③主	主体的に学ぶ力	主	①自ら課題を見出し、課題を解決する方法を考えることができる。 ②自ら課題を見出し、進んで自分にできることを考え実行することができる。
	他者とかわる力	他	①仲間と協働して課題解決のために行動することができる。 ②仲間との話し合いや他者の意見から、考えを深めることができる。
	社会貢献力	社	①様々な立場の人々のことを考え、よりよい地域にするために実行することができる。
	自己形成力	自	①課題解決のために、前向きに試行錯誤している。 ②課題解決のための目標を自分なりに掲げ、達成に向けて努力することができる。

単元と評価の計画

1 学びづくりの計画

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
単元	「身近な地域の課題を解決しよう～誰もが暮らしやすいまちをめざして～」(40時間)						「3年間の学びを形にしよう」(30時間)					
	地域理解・社会貢献						自己探究					

2 単元と評価の計画

小単元名	学びの過程	時数	○学びの内容 ・学びの活動	評価規準 (評価方法)	教科との関連
「地域の課題を考えよう」	課題の設定	4	○オリエンテーション(1) ・身近な地域の方々の生活について考え、何に困っているのか、その理由とともに考える。 ・3年生の総合的な学習の時間で何を学び、どのような力を付けていくのかを確認する。 ○身近な地域の課題を想起する(3) ・自分たちが住む身近な地域の課題を挙げ、「産業」や「自然環境」など、分類する。 ・中学生の考える課題だけでは、「誰もが暮らしやすいまち」にはつながらないことに気付く。 ⇒他の立場の人にも聞いてみよう。 ・家族など身近な人に聞いた地域の課題を知る。	⊕【自-①】 ⊗【知-①】 (行動観察) (ワークシート)	⇔【社会】 より良い社会を目指して ⇔【理科】 自然と人間

情報の収集	5	<ul style="list-style-type: none"> ○テーマ（ゴール）の設定（2） <ul style="list-style-type: none"> ・視点ごとに課題解決のためにできそうなことを考える。 ・班のテーマ（ゴール）を決定する。 ○課題解決の方法の決定（3） <ul style="list-style-type: none"> ・テーマごとに現状を調べる。 ・課題解決のためのアイデアを出す。 ・アイデアを吟味し、課題解決の方法を決める。 	思【思－①】 （行動観察）	
まとめ・表現・創造	2	<ul style="list-style-type: none"> ○企画書の作成（2） <ul style="list-style-type: none"> ・課題解決の方法について詳しく考え、企画書を作成する。 ・考えた企画を交流し、現在の自分たちの知識だけでは企画を実行するのが難しいことに気付く。 ⇒詳しく調べよう。	主【主－①】 （企画書）	
情報の収集		<ul style="list-style-type: none"> ○実地調査に向けて準備（3） <ul style="list-style-type: none"> ・電話原稿を作り、アポイントメントを取る。 ・依頼状を書く。 ・行動計画を作る。 ・質問事項、調査事項を整理する。 ・当日のあいさつを考える。 ○実地調査（6） <ul style="list-style-type: none"> ・計画をもとに実地調査を行う。 ・お世話になった事業所等にお礼状を書く。 	主【主－②】 主【他－①】 （行動観察）	⇔【国語】 手紙の書き方 敬語の使い方 ⇔【社会】 身近な地域の調査
整理・分析	2	<ul style="list-style-type: none"> ○調査結果の分析（1） <ul style="list-style-type: none"> ・実地調査で分かったことを整理、分析する。 ○企画書の作成（1） <ul style="list-style-type: none"> ・実地調査の結果をもとに、企画書を練り直す。 	思【思－②】 （行動観察） （企画書）	⇔【国語】 話し合いを効果的に進める 観点を立てて分析する
まとめ・創造・表現	7	<ul style="list-style-type: none"> ○企画の準備（4） <ul style="list-style-type: none"> ・企画に向けて準備をする。 ○事前説明会の準備（4） <ul style="list-style-type: none"> ・テーマや企画を設定した理由やどのような企画を行うのかが分かりやすいよう、資料等を準備する。 ※企画の準備と事前説明会の準備は、班の中で分担し、並行して行う。	思【思－③】 主【他－②】 （行動観察）	⇔【国語】 言葉を選ぼう ⇔【数学】 資料の活用
実行	4	<ul style="list-style-type: none"> ○企画の最終準備（2） <ul style="list-style-type: none"> ・事前説明会で出された意見をもとに、最終調整をする。 ○企画の実行（2） <ul style="list-style-type: none"> ・より良い地域になるよう、班ごとに企画を実行する。 	主【自－②】 主【社－①】 （行動観察）	
振り返り	7	<ul style="list-style-type: none"> ○企画を振り返る（1） <ul style="list-style-type: none"> ・成果と課題、改善策を考える。 ○実践報告会の準備、練習（4） <ul style="list-style-type: none"> ・テーマや企画を設定した理由、企画実行までの流れ、成果と課題、改善策が分かりやすいよう、資料等を準備し、練習する。 ○クラス内発表（1） <ul style="list-style-type: none"> ・クラスで実践報告会を行い、投票を行う。 ○学年発表（1） <ul style="list-style-type: none"> ・クラス代表が報告を行い、単元全体を振り返って考えが深まったこと等を発表しあう。 	思【思－③】 主【他－②】 （行動観察）	⇔【国語】 言葉を選ぼう ⇔【数学】 資料の活用
※単元計画は、単元の見通しを示したものであり、子どもの学びの姿によっては、当然学習過程や時数も常に変更される。学び方においても、一つの形にこだわらず、時には一人で、時には他のグループで等のように、個に応じて最適な学びとなるよう、学びの内容や活動も随時変更を行っていく。				

本時の学びの展開

1 本時の目標

より良い企画となるように、それぞれの企画について意見やアドバイスを言い、考えを深める。

2 本時の評価

評価規準	評価基準	
仲間との話し合いや他者の意見から、考えを深めることができる。 ㊦【他-②】 (行動観察)	A	他の班のプレゼンテーションや自分の班への意見を聞いて考えを深め、より良い企画内容をつくっている。
	B	他の班のプレゼンテーションや自分の班への意見を聞いて考えを深め、企画内容を再考している。
	C	他の班のプレゼンテーションや自分の班への意見を聞いて考えを深めようとしている。

3 学習展開 (29限目/40)

学びの過程	課題の設定	情報の収集	整理・分析	まとめ・創造・表現	実行	振り返り
	学びの活動			教師のかかわりの留意点		評価規準 (評価方法)
導入	1 本時のめあてと学習の流れを確認する。 ①この時間につけたい力を確認する。 「それぞれの班の実践報告を聞いて、意見を交流する。」 ②意見やアドバイスの内容について、視点(何の課題を解決しようとしているか、その課題解決のためにさらに良い企画にするには)を確認する。			①交流方法示す。 ・多目的教室の5カ所を各班に割り当てておき、発表用の準備などをさせておく。 ・5班分回れるように時間を示すが、強制はしない。 ・発表者は2人、回り方やメンバーは自由。 ・最後にどこの班の修正した企画がよいか投票することを伝える。		
【本時のめあて】 それぞれの企画について意見やアドバイスを言い、より良い企画を考えてみよう。						
展開①	2 それぞれの班の企画や実践報告を交流する。 ①それぞれの場所で企画や実践報告を発表する。 ②質疑応答やアドバイスをする。			②・聞く人は発表の仕方や姿勢ではなく、企画についての質疑応答を行うことを伝える。 ・発表の途中でも、質疑応答はしてもよい。		よりよい解決や発信の方法はないか、多面的・多角的に考えることができる。 ㊦【他-②】 (行動観察)
展開②	3 出た意見やアドバイスをもとに企画内容や実践報告を修正する。 ①出た意見を受けて、自分達の企画内容を修正する。 4 修正した内容を全体で共有する。 ①各グループで話したことを発表する。			①・別の視点から見ると、様々な発見があったことを確認させる。		
まとめ	5 本時の振り返りをする。 ①各班に投票を行う。			①・丸シールを6枚配布し、一番よい班の模造紙には3枚、次に良い模造紙に2枚、3番目に良い班の模造紙には1枚貼ることを伝える。 ・投票をきっかけにそこへ投票した理由を考えさせ、発表させる。		